Business

Progress

ビジネス・イベント・マネジメント

データのコンテクストからのビジネス・モデリング

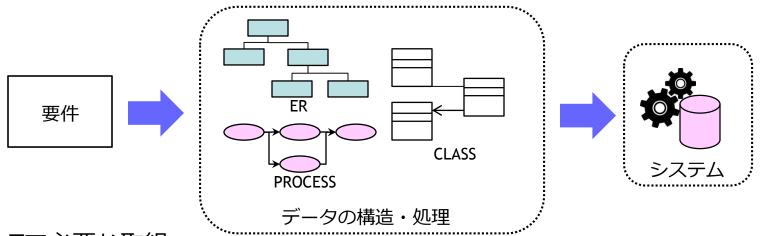
株式会社ビジネス・プログレス

モデリング

これまでの取組

目的: 情報システムを作る

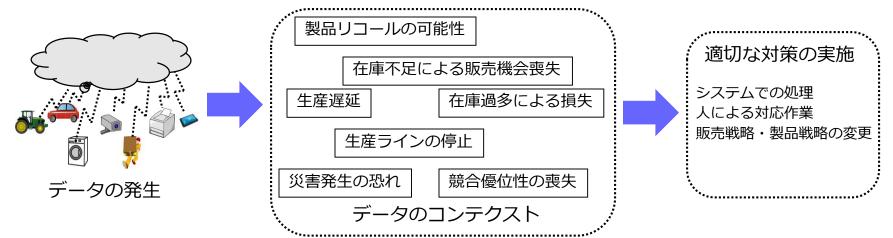
手法: プロセスとデータを正確に表現する



IoTで必要な取組

目的: 起きていることを迅速・正確にとらえる

手法 : 発生したデータの意味を捉える仕組み



データの意味を捉える:イベント・コンテクスト

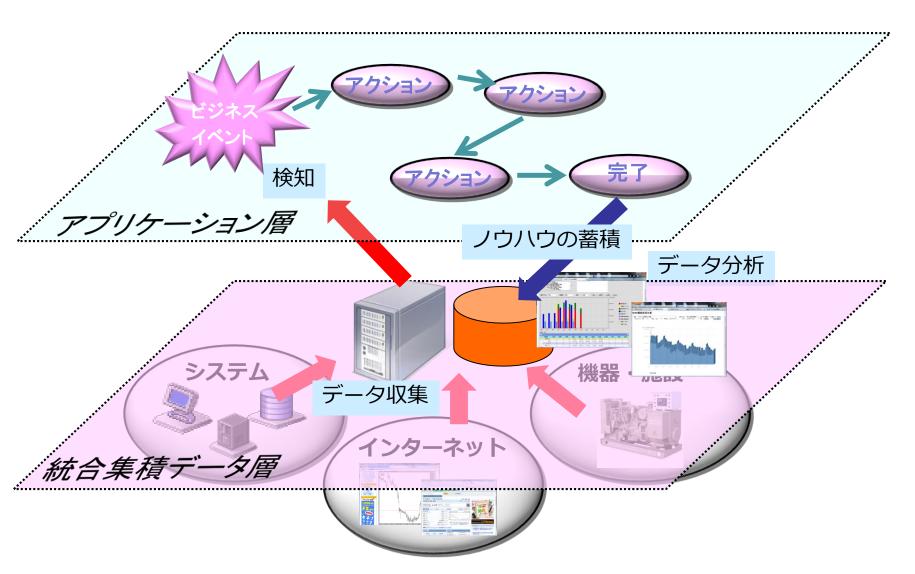


イベント・コンテクスト

ビュー	データ・タイプ	検知基準	例
遷移	値	異常な遷移状況	月次販売額の急変
割合/分布	値	異常な比率/分布	地域別販売割合の急変 製品販売シェアの急変
閾値	値 時間	上限/下限	在庫の不足 配送の遅延
比較	値 時間	データの不一致、乖離	販売額と入金額の不一致
傾向	値 時間	異常な傾向	販売の継続的減少 不良品率の急増
統計比較	値 時間	統計値からの乖離	過去の状況に比して少なすぎる販売 業務の長すぎる処理時間
パターン	データ・パター ン	異常なパターンの出現	在庫過多にも関わらず生産量の増加
業務効率	スループット	目標の不達	業務集中のボトルネックによるスループ ットの減少
リードタイム	処理時間	想定時間超え	プロセス変更による想定外のリードタイ ム増加

統合集積データ上のビジネス遂行基盤

収集したデータからビジネスのイベントを検知。一連の対応アクションを実施



イベントをどう捉えるか

イベントのタイプ

イベント: ビジネス上対応すべきアクションや作業が必要になった状態

(1) スケジュール・イベント: 予定した日時(特定日時や定期的な日時)に発生

例: 機器や設備の定期保守、納期での製品納入

(2) ヒューマン・イベント: ビジネスの進捗度やその状況に応じて随時発生する が人の状況等判断や行動により起きるもの

例: 顧客からの修理依頼、業者への商品の発注

(3)システム検知イベント: ビジネスの進捗度やその状況に応じて随時発生する がシステムがアプリケーションやセンサーからデータを収集、データが事前に設定 されたイベントの検知条件に合致した場合に検知するもの

例: 最低在庫以下の商品在庫、製造での不良品率規定率超過、機器の油圧規程値超過 などのシステムによる検知

(4) 導出イベント: 他のイベントの結果から引き起こされるイベント

例:クレーム件数急増への対応結果からの製品リコールイベントの起動

イベント・マネジメント: イベントを捉えて解決まで管理

イベント・マネジメントは下記の仕組みでビジネスを遂行



イベント起動/検知

▶ イベントの起動/検知をメールで通知して対応のアクション/作業を開始



アクション

イベント対応のアクションを下記手順で実施



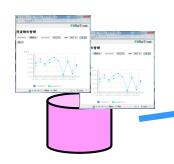
アクションの項目を確認

アクションに必要な情報を参照

他部署等外部のアクションが必要な場合は依頼



上記を完了まで繰り返し、結果とナレッジを入力して完了



以前の実績・測定データ

アクションのナレッジ活用

記録されたアクションのナレッジを活用 作業ノウハウの蓄積と活用、問題多発箇所の把握と改善、

機器等の測定値の蓄積と分析による機器の設計・製造の改善

イベント・マネジメント: モデル

モデルは、「イベント・モデル」、「アクション・モデル」、「イベント・データ」により定義。 「イベント・モデル」

どの業務の何(イベント・サブジェクト)を対象とするか どの状態をどう検知(イベント・コンテクスト)するか どう表現(可視化)するか

ex. 案件の発生、機器の異常検知、在庫の不足、生産遅延

「アクション・モデル」

イベント発生時に行うアクション/作業の項目は何か アクションの内容は、順番、状況の管理はどのようにするか ex. 検査、確認、測定、データ入力、他者への作業依頼

「イベント・データ」

イベント/アクションに付随する情報。入力する情報、関連付ける情報 ex. 顧客データ、測定データ、発注データ



イベント・マネジメント: モデル例

		適用業務				
		機器・設備管理	営業支援(SFA)			
イベント・ モデル	サブジェク ト	機器・設備	顧客、商品			
	状態	故障・定期点検時期	顧客からの引合			
	検知	スケジュール、システム	ヒューマン、システム			
	可視化	マップ(設備)、構内配置図	マップ(顧客)、営業フロー図			
アクション・モデル	作業項目・ 手順	保守点検~部品手配~修理依頼~修理作業 ~作動確認	商品説明〜プレゼン〜デモ〜見積作成、条件 設定〜見積承認〜見積提出〜受注処理			
ン・モテル	状況管理	要点検、点検中、要修理、修理中、完了	商談中、客先稟議中、受注/失注			
イベント・ データ	入力情報	点検結果、修理内容	顧客情報、商品、金額、確度、時期			
	関連情報	機器マニュアル、性能表、手順書	商材カタログ、顧客情報			

イベント・マネジメント: モデル例

		適用業務				
		在庫管理	物流管理			
イベント・ モデル	サブジェク ト	在庫	荷物			
	状態	発注点	配送依頼			
	検知	システム	ヒューマン、スケジュール			
	可視化	マップ、製品別在庫	マップ、経路図			
アクショ ン・モデル	作業項目・ 手順	在庫確認~発注~受領~在庫補充	受付~配送手配~配送~配送完了			
	状況管理	適正在庫、発注点、発注、納品待、 受領	未着手、手配済、配送中、配送済			
イベント・ データ	入力情報	発注内容、納期、受領状況	商品、配送先、配送期日			
	関連情報	調達先情報、販売状況				

アクション・モデル



コンピュータ/マシンによる自動対応

M2M



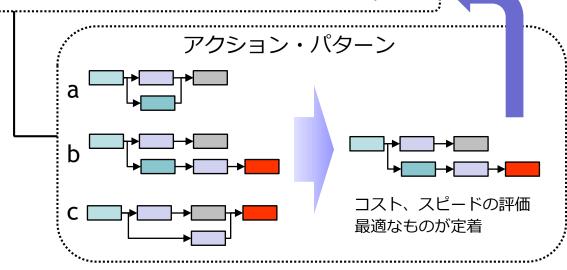
人の作業/システムの使用

点検、測定、修理、調査 等作業 連絡、報告、レポート作成 データ入力、システムの起動 依頼、承認

Predefined: 既定の順番/内容で実行

アクション ・リコメンデーション *1

Ad-hoc: 状況に応じてアクションを選択/実行

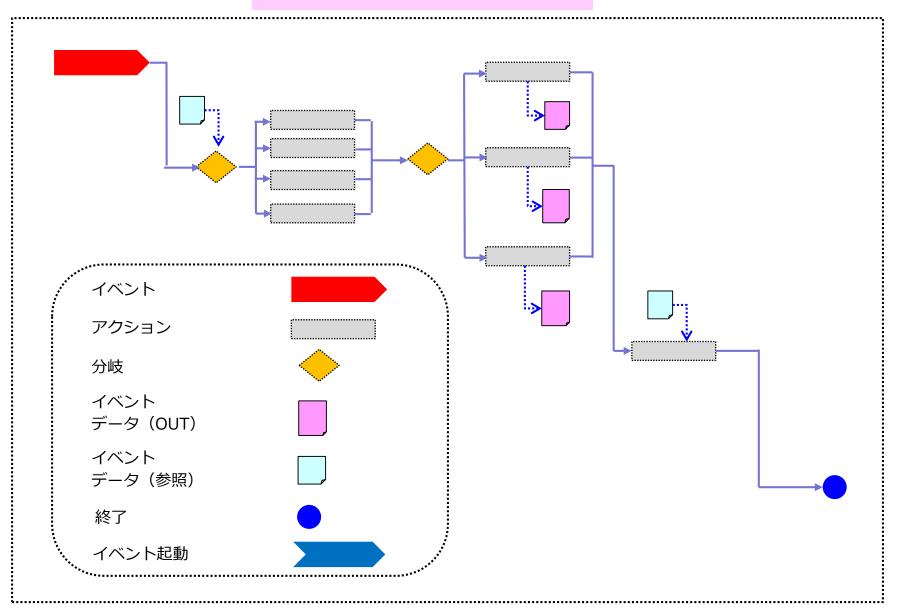


*1 国際特許出願中

アクション・モデル例

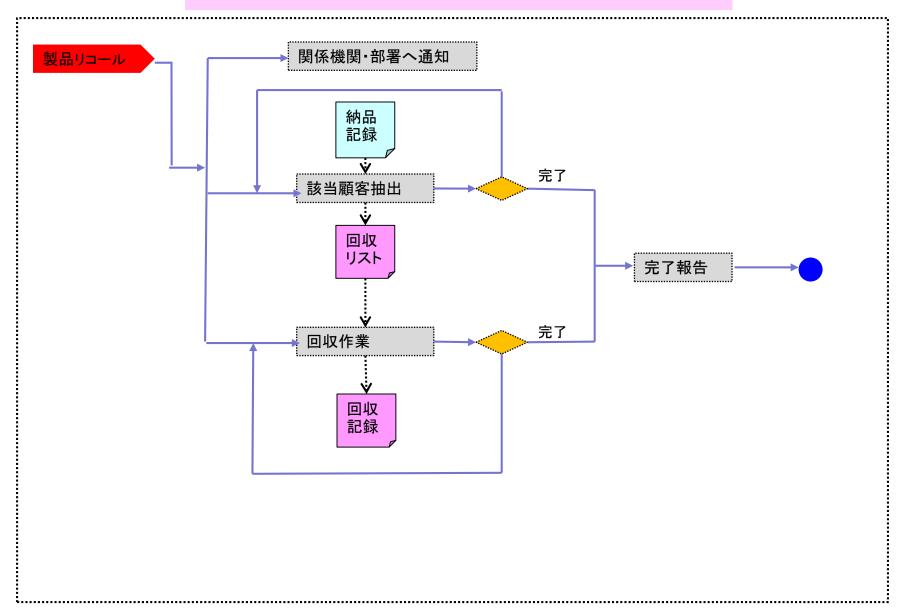
	Action Verb	Action Subject	Action Value	Action Assigned	Action Due	Action Completion	Action Status	Action Reference	Action Deliverables
クレーム舗加ィバント	調査	クレーム	報告書名	品質管理部長	10/17/2015	10/15/2015	問題あ り		報告書
17V 17	起動	イベント	製品リコー ル	品質管理部長		10/15/2015	完了		製品リコール
	作成	対象製品リスト	リストファ イル名	製造部長	10/18/2015	10/18/2015	完了		対象製品リス トファイル
<u> </u>	作成	対象顧客リスト	リストファ イル名	カスタマーサ ポート部長	10/30/2015		作業中	対象製品リスト	対象顧客リス トファイル
イングエ ルーロ	通知	製品リコール		広報部長	11/05/2015			対象製品リ ストファイ ル対象顧客 リストファ イル	通知ウェブペ ージ, 通知レター
製品リコ	リコール実 施I	製品		カスタマーサ ポート部長	03/30/2016				
	報告	回収状況	対応完了リ ストファイ ル名	カスタマーサ ポート部長	03/31/2016				対応完了リス トファイル

イベント・マネジメントの表記



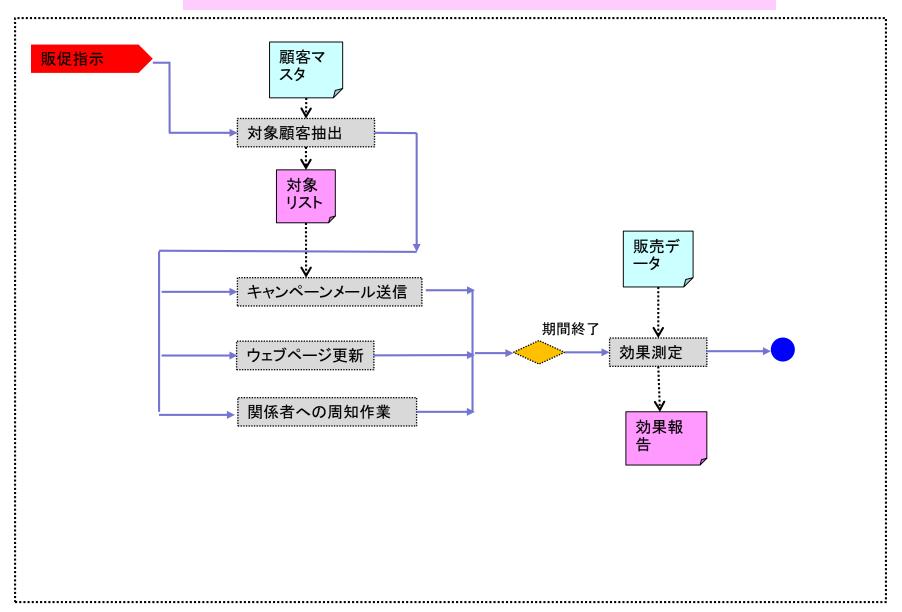
イベント・アクション・ダイアグラム

イベント・マネジメントの表記例 : 製品リコール



イベント・アクション・ダイアグラム

イベント・マネジメントの表記例:販促キャンペーン

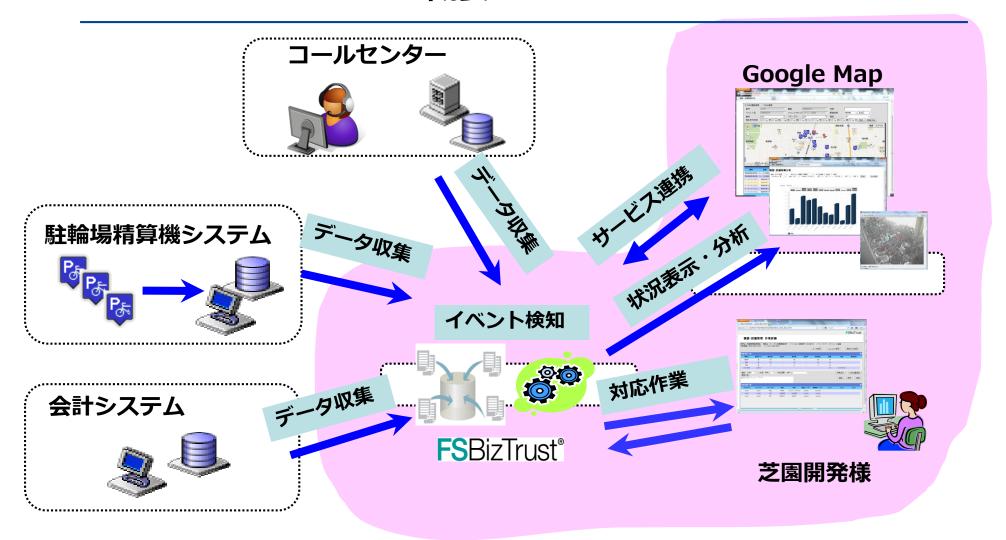


イベント・アクション・ダイアグラム

芝園開発株式会社様 駐車場・駐輪場管理

経済産業省主催の「中小企業IT経営力大賞2014」にて「大賞」と「個人賞を」W受賞

概要



①駐車場・駐輪場精算機システム、会計システム、コールセンターのシステムよりデータを収集 ②Google Map上に各施設と状況を表示。 施設ごとの情報ヘドリルダウン

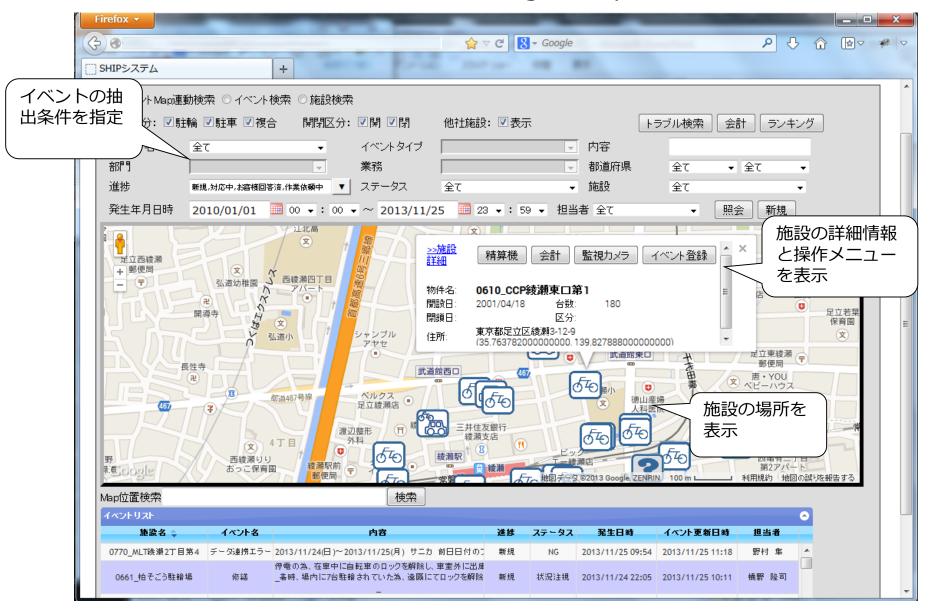
イベント対応

- ③対応が必要なイベントを検知
- ④対応作業を行い、結果を記録

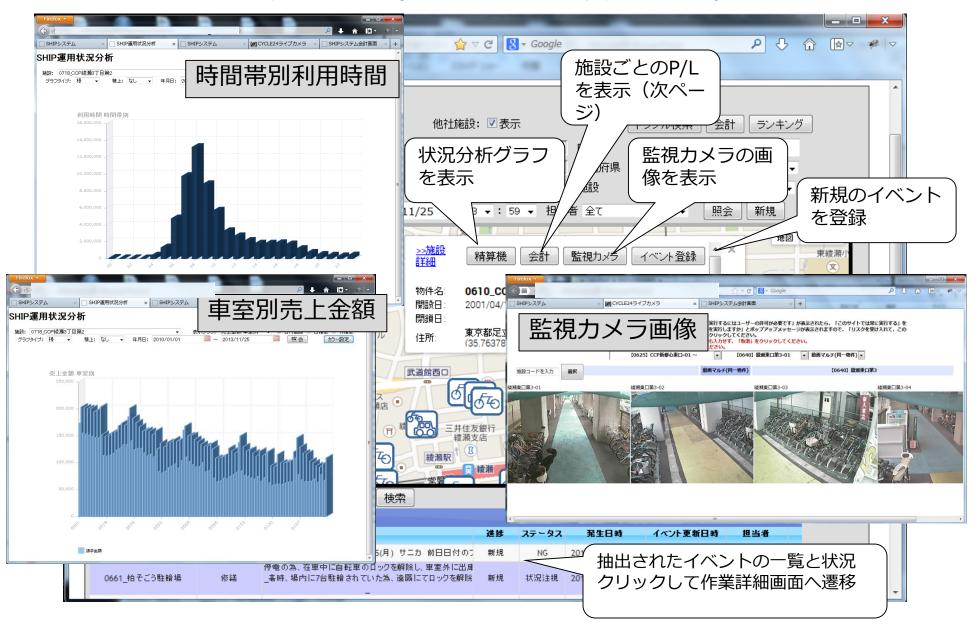
収益改善

- ③施設ごとの収益を分析
- ④収益改善の施策を実施

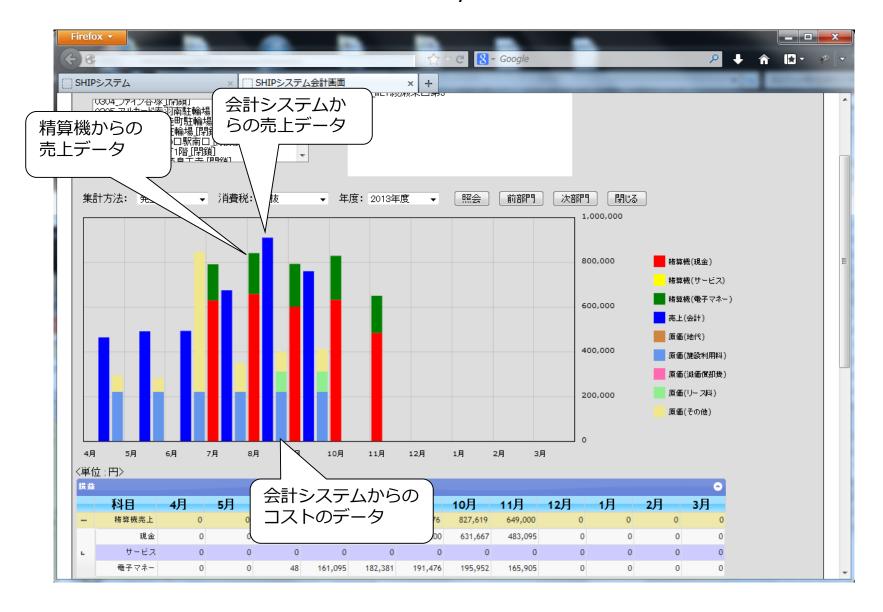
全体状況(Google Map)



状況表示(グラフ等施設単位の情報)

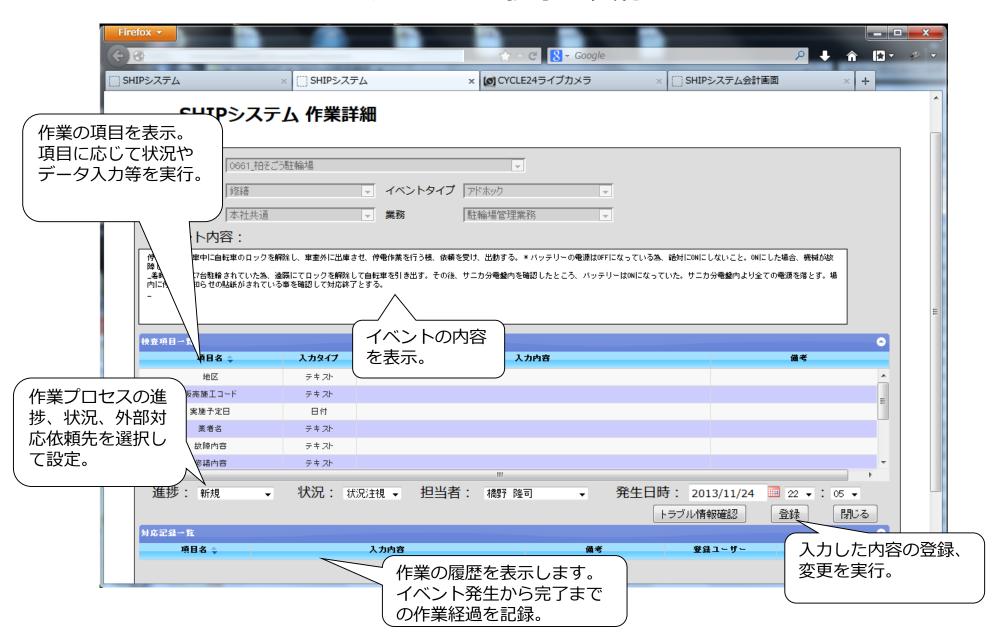


施設単位のP/Lの把握



アクション

アクションの提示と実行



競合施設情報



**				
分類	項目 	導入前 	導入後 	効果
管理作業の効率化	施設で発生 した問題へ の対応	コールセンターから毎朝 FAXで送られる、施設で発 生した問題リストを見て紙 ベースでの対応	問題のリストをシステムに自 動取込。システム上で対応作 業管理	作業効率が劇的に改善 また作業漏れ、放置が なくなる
	施設監視	WEB上の施設リストから対象施設を選んで監視カメラを表示	マップ上で施設を選んで監視 カメラを表示	作業効率の改善
	施設稼働状 況の把握	精算機のメーカーごとの異 なるシステムへログインし て施設を指定してデータを 取得	精算機のメーカーのかかわらず、自動で全施設のデータを取得して一元管理。マップから施設を選んで稼働状況を把握	稼働状況に応じて料金 設定を変えるなど、柔 軟な経営施策が可能に なった
経営拡大	施設単位の P/L把握	売上は精算機データから取得できるが、施設単位でのコスト情報を捉えP/Lを出すことが出来ていなかった	会計システムからデータを自動取得し、精算機からの売上情報マッチングして施設単位のP/Lを随時把握可能	施設の拡大や縮小等の 施策を効果的に打てる ようになった
	新規施設開 拓	施設巡回時に新規施設の候 補を見つけても適切な対応 が取れていなかった	施設候補地をマップ上に登録 して、施設開拓作業をシステ ム上で管理	現在運用開始中
	競合施設の 対策	競合施設があることが分かっていてもその情報管理と 活用ができない	競合施設をマップ上に登録し、 料金等含め把握・管理。自社 施設の売上状況と合わせて分 析して対策を打つ	競合施設の情報をマップ上で簡単に見ることが出来、迅速に対策が 取れるようになった

ご清聴ありがとうございました

株式会社ビジネス・プログレス http://www.biz-progress.com